



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	プレゼン発表の方法① ～シンプルな構成～
Author(s)	多田, 泰紘
Description	主催 : 北海道大学ラーニングサポート室, 北海道大学附属図書館
Relation	アカデミックスキルセミナー 論文・レポート執筆とプレゼン発表へ向けた 研究の始め方・進め方セミナー. 2015年6月30日 (火), 北海道大学附属図書館, 札幌市
Issue Date	2015-06-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/59536
Type	lecture
File Information	academic skill05.pdf



論文・レポート執筆とプレゼン発表へ向けた 研究の始め方・進め方セミナー

プレゼン発表の方法① シンプルな構成

ラーニングサポート室 (LSO) 附属図書館

担当: LSO 特定専門職員 多田泰紘

目次

0. プレゼンと論文の違い	1
1. 話し手と聞き手の違い	2
2. シンプルって何?	4
3. 学会発表と学位審査	7
4. 参考文献の紹介	9

【注意】

本資料は研究成果を保証するものではありません。必ず、指導担当の教員と相談の上、研究を進めてください。なお、本資料で使用している研究データ等は架空のものです。

0. プレゼンと論文の違い

■ プレゼンの 目的

[例]

興味深い 研究成果 が得られた。➡ 成果を 多くの人に知ってもらおう。

ここがポイント

プレゼンの目的は成果を知ってもらうこと

目的は論文と変わらない。



■ プレゼンの メリット

絵や 写真 を多く使える。➡ 視覚的な表現 が豊富。

目の前で 解説する。➡ 躍動感ある 演出が可能。

演者が直接 説明する。➡ 聴衆と 共有・共感 の機会。

ここがポイント

論文・レポートよりも表現が豊富

■ プレゼンのデメリット

絵や写真を多く使える。➡ 目が疲れる。

目の前で解説する。➡ 他人のペースで説明が進む。

演者が直接説明する。➡ 聴衆と温度差が生じやすい。

ここがポイント

聴衆への配慮が必須

内容以外の部分も気を付けないと…。



コラム～論文だけでは意味がない?!～

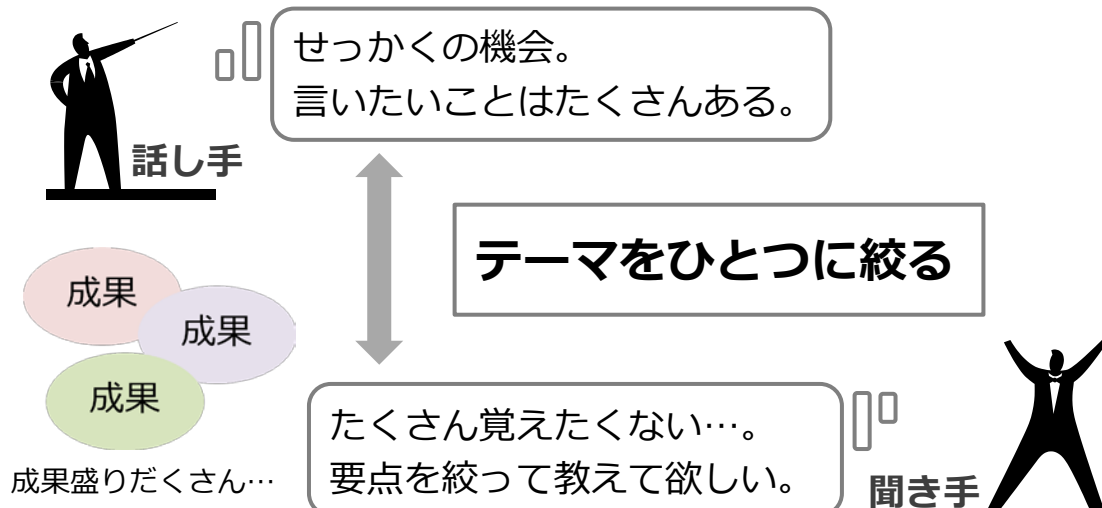
論文とプレゼンの違いはすでに述べました。プレゼンのメリットは重々承知のうえで、その必要性について考えたいと思います。論文とプレゼンだと、論文のほうが重要と見られることが多いでしょう。論文は後々まで残る功績です。業績としての評価も論文のほうが重要視されます。ではなぜプレゼンがここまで広く用いられているのか。それは、目に見えない人脈を築き、情報がやり取りされるからです。自分の研究を知ってもらい、近い分野の研究者と知り合い、交流を持つ。そして有益な情報が入ってくる。これがプレゼンの醍醐味のひとつです。

プレゼンだけでは意味がありませんが、論文を書いたなら（書けるだけの成果があるなら）ぜひプレゼン発表を行うべきでしょう。

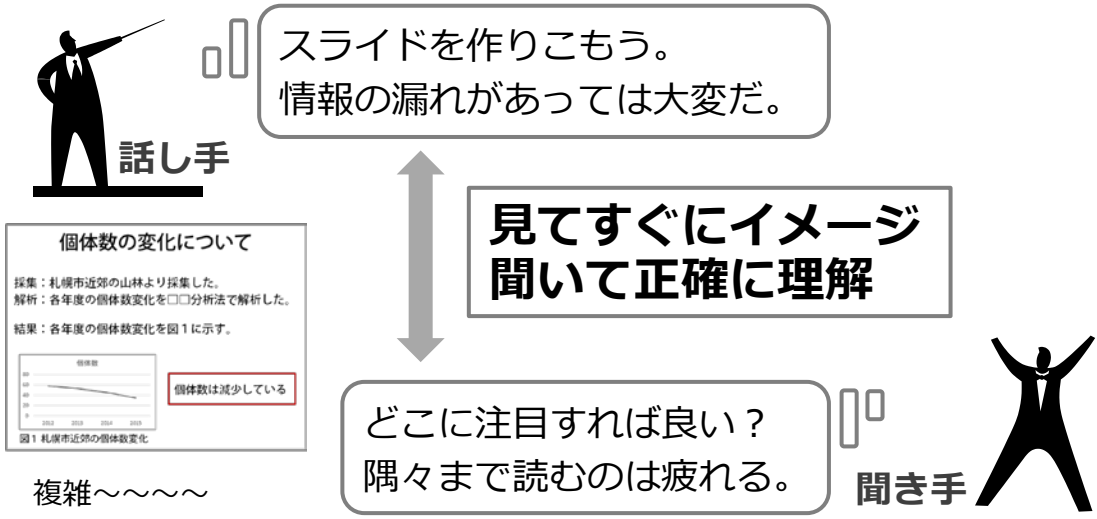
論文は業績になります。プレゼンは今後の研究の助けとなるのです。

1. 話し手と聞き手の違い

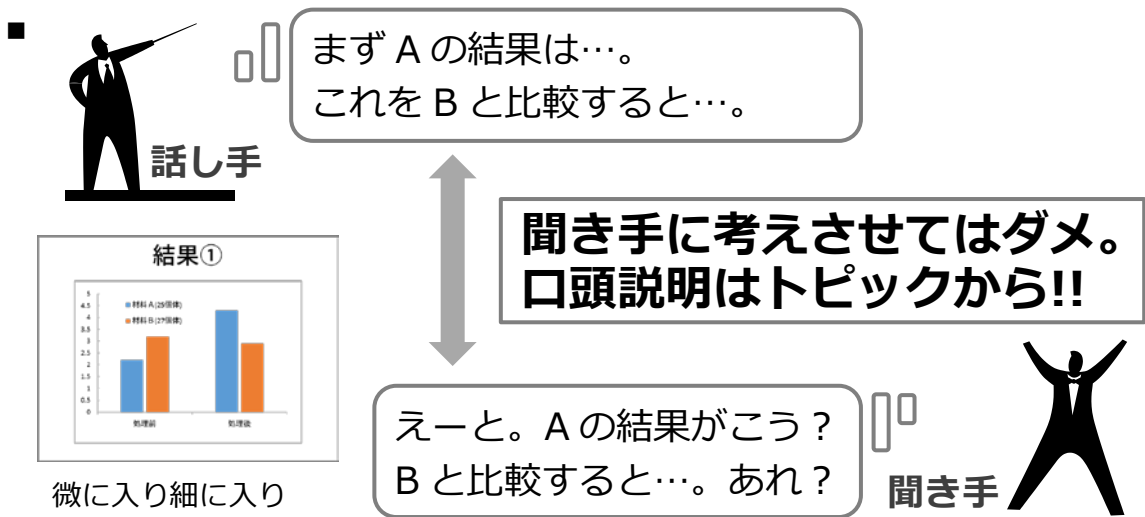
- 伝えたいこと（テーマの数）についての意識の違い



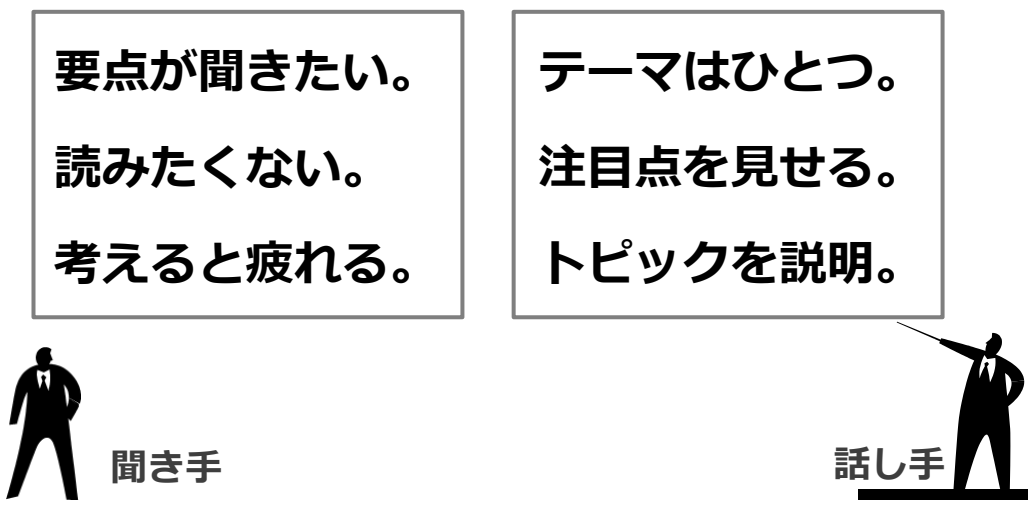
■ スライドの使い方についての意識の違い



■ 口頭説明についての意識の違い



■ 聞き手はわがまま？なもの、話し手は シンプル に説明する。



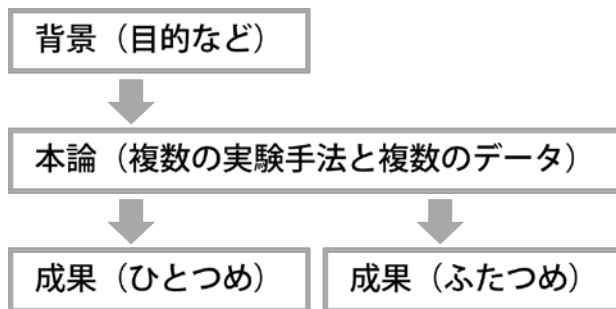
コラム～聞き手を知ろう～

プレゼンを聞いている最中に眠くなることはありませんか。私はよく？あります。そして怒られます。話し手に失礼だと。しかし、よく考えると腑に落ちない理屈です。睡魔に負けるプレゼンをしている時点で、聞き手に失礼です。興味を持ってやって来て、少なくとも発表前には起きていた聞き手が寝てしまう。あるいは睡魔と戦う苦行を強いる。なぜこうなるのでしょうか。反省すべきは話してのほうかもしれません。聞き手は話す内容を知りません。見て聞いて理解するという作業が必要です。読みにくい、考えなければ理解できないプレゼンでは疲れてしまいます。疲れは集中力を奪います。聞き手の脳は休息を求めます。聞き手の立場に立った、分かりやすくシンプルなプレゼンが目標です。

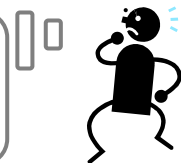
2. シンプルって何？

- 論文・レポートの構成を見直して、言いたいことを ひとつ にする。

[例] 論文・レポートの構成



成果はたくさんあるけど、
全部話すと混乱するかも…。



[例] プレゼンの構成を練る

- 1) 一番言いたい成果 を結論にする。

結論 (一番言いたい成果)

2) 結論に **対応する** 序論を決める。

結論（一番言いたい成果）

序論（結論と対応するもの）

3) **説明に必要最少限** の本論をおく。

説明に直接関係しない 実験データは省く。

結論（一番言いたい成果）

本論（必要最少限の手法説明とデータ提示）

序論（結論と対応するもの）

4) **順序を入れ替える**。

結論（一番言いたい成果）

本論（必要最少限の手法説明とデータ提示）

序論（結論と対応するもの）

ここがポイント

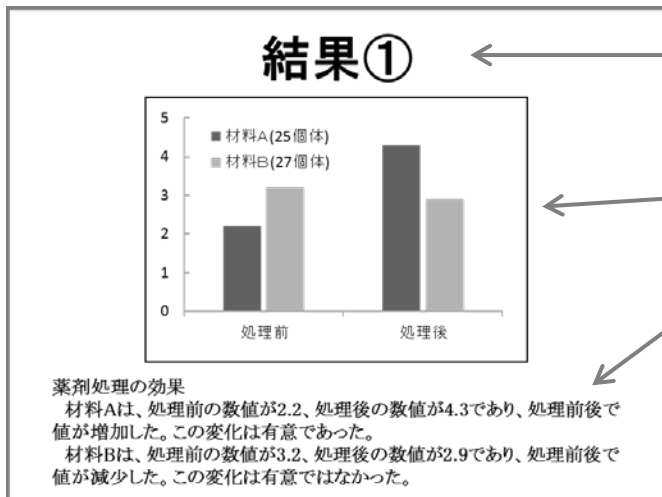
結論（話のオチ）から作っていく。

論文・レポートを素材として、
構成を組みなおしながら作ると良い。



- 情報を抑えて，視線を誘導して，見やすく分かりやすいスライドを作る。

[例] 悪いスライド



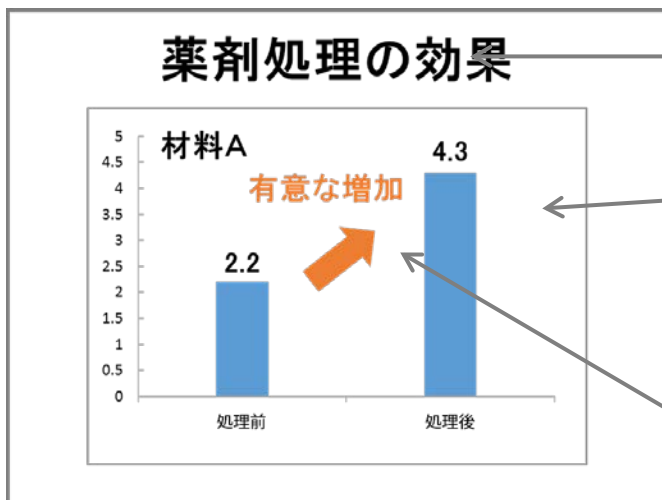
タイトル読んでも
トピックが分からない

トピックがふたつ
(材料AとBの結果)

文章が長い

注目点がわかりにくい

[例] 改良したスライド



タイトル=トピック

トピックをひとつに
(Bの結果は別スライドへ)

文章を極力書かない

注目点がわかりやすい

ここがポイント

- 文字は一文+箇条書き
- グラフは作り直し，簡潔に
- 色で視線を誘導する

コラム～シンプルと手抜きは違う!～

シンプルと手抜きは違います。ただし、無闇に情報を削ってはいけません。「シンプル」とは、感覚的な理解を妨害する余分な情報を除くことです。これは大変な作業です。すべての情報を吟味する必要があります。大量の情報をスライドに詰め込んでおくと、話し手は(間違った)安心感が得られるかもしれませんが、しかし、聞き手は情報のシャワーに邪魔されて、肝心の結論を聞き逃してしまいます。膨大なデータの中から、聞き手に伝えたいひとつのメッセージ(結論)と、それを説明するための必要最低限の情報を厳選してください。情報が絞り込まれることで、聞き手はあれこれ考える必要がありません。見て、聞いて、理解するだけです。

3. 学会発表と学位審査

- 同じプレゼンでも、学会発表と学位審査はその性質が大きく異なる。

[例] 学会発表

聞き手は 研究成果 に興味がある。➡ 積極的に アピール!

ここがポイント

学会発表はアピールを重視。

アドリブや議論も歓迎される。



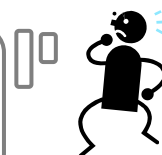
[例] 学位発表

聞き手(審査員)は 研究の説明能力 を確認する。➡ 堅実に 解説。


ここがポイント

学位審査は手堅く説明。

こちらは試験だからなあ～。
説明が多くなるのは仕方ない。




- 原稿を作って、覚えて、堅実な説明を行う。




話し手

説明内容は正しいか？
結論・考察に穴はないか？




審査員



話し手


原稿を作ったことで、
説明に自信が持てる。

- 質疑応答に対して、あらかじめ 回答を考えておく。




話し手

自分の研究を理解しているか、
質問してチェックしよう。




審査員



話し手


やっぱりこの質問きたか。
回答を考えておいて良かった。

- 議論を盛り上げるのではなく、質問への返答 に終始する。




話し手

このように考えられませんか？
(もっと考察が聞きたいな)



審査員



話し手

その考えもありえると思います。
ただ私はこの結果から、こう考えました。

コラム～学位審査におけるプレゼンの意味～

論文やレポート、学会発表を行えば、最後に口頭試問を受けなくても良いように思いませんか。実際、指導教員は、学生・院生の研究内容についてよく見えています（見られています）。

ではなぜ、わざわざプレゼンさせるのでしょうか。それは、限られた時間で自分の研究とその成果を説明できる、発表能力があるかを見るためです。

研究能力と同じように、発表能力は研究者に必要なスキルです。ぜひ身に付けてください。

4. 参考文献の紹介

TED -Ideas worth spreading <http://www.ted.com>

有限責任会社 TED Conferences (テドまたはテッド) により運営されるプレゼンテーション視聴サイト (無料配信)。著名人、有名人のプレゼンを視聴することができます。日本語字幕付き動画 (<http://www.ted.com/translate/languages/ja>) も数多く配信されており、世界トップクラスのプレゼンは必見です。

田中佐代子『PowerPoint による理系学生・研究者のためのビジュアルデザイン入門』 講談社 2013 年

書名の通り、理系向けのプレゼンスライド、ポスター改善指南書。色使い方やグラフの見せ方などをイラストで分かりやすく解説しています。すでにスライドやポスターを作ったことがある人も、これを読めばぐっと良くなること必至。

ISBN: 9784061531505 学内所蔵：本館、北図書館、薬・農・水産学部図書室

石坂春秋 『レポート・論文・プレゼン スキルズ』 くろしお出版 2003 年

アカデミックスキルセミナーで紹介する内容を収めたスキル本。スキルの要点がコンパクトにまとめられています。トピックごとに細分して紹介されているので、空いた時間に読み進められます。

ISBN: 9784874242735 学内所蔵：本館、北図書館、文・教育・水産学部図書室

ガー・レイノルズ『プレゼンテーション Zen 第 2 版』ピアソン桐原 2012 年

Zen (禅) の教えをもとに、プレゼンテーションの方法を紹介した、ガー・レイノルズの主要著作。プレゼンの構成から、スライド作成、発表中に気を配る点まで、「伝わる」プレゼンのヒントが詰め込まれています。ぜひ読んでおきたい名著です。

ISBN: 9784864010870 学内所蔵：本館、北図書館

ガー・レイノルズ『シンプルプレゼン』日経 BP 2011 年

「シンプル」をテーマに、プレゼンの基本理念を説いた一冊。「プレゼンテーション Zen」の内容を凝縮した構成となっています。図や写真が多く用いられ、サクッと読めるので、時間のない人にもオススメ。付属 DVD はプレゼンテクニック満載です。

ISBN: 9784822230548 学内所蔵：北図書館

**酒井聡樹『これから学会発表する若者のために—ポスターと口頭のプレゼン技術』 共
立出版 2008 年**

有名な学会発表の指南書。例題はやや？独創的ですが、豊富で分かりやすい作りになっています。ポスターとプレゼンを網羅しており、参考書として手元に置いておくに十分な内容です。

ISBN: 9784320005792

学内所蔵：本館、北図書館、理・薬・工・農・水産学部図書室

**高橋佑馬, 片山なつ『伝わるデザインの基本 よい資料を造るためのレイアウトのルー
ル』 技術評論社 2014 年**

ポスターやスライドのレイアウトについて書かれたスキル本。デザインに特化した内容で資料としての価値が高い。文字や色の使い方まで幅広く解説されている。スライドだけでなく、論文の図・表作成や、申請書作成にも役立つ一冊。

ISBN: 9784320005792

学内所蔵：本館、北図書館、理学部図書室